

平成29年度 西東京市市民協働推進センター事業報告

西東京市市民協働推進センター（以下、センターという）は、開設された平成21年3月より3期連続して西東京市社会福祉協議会が受託してスタッフ6名で運営している。（毎日10時～19時開館で毎週日曜日および年末年始は閉館。）

平成29年度では、重点事業として取り組んできた多者協働を目指した「まちづくり円卓会議」の一層の定着化を図るとともに、昨年度に初めての試みとして市民活動と社会教育とを連動させるため共催した柳沢公民館での講座開催へと引き継ぐことができた。また、「協働のまちづくりワークショップ」では市民活動団体、行政、企業、自治会など多彩なメンバーの参加により協働の基本について学ぶ機会を提供することができ、好評を得た。NPO市民フェスティバルにおいては、会場をアスタセンターコートへ移してから3回目の開催となり、1,025名の集客があり市民活動・地域活動に対する市民の関心・参加意欲を促す取組みとなっている。センター開設10周年を迎えるにあたり、市民の多様な活動とまちづくりにとって不可欠な存在になりつつある。

事業	当初計画(年間)	実施内容・実施日(参加者数等)	成果と課題
広報・PR事業 【重点事業】	センターの役割や機能、活動内容を広報・PRしてセンターに対する市民活動団体、市民の認知度向上及び利用者の増加を図る。 <下半期> ○NPO市民フェスティバル <通年> ○機関紙の発行 ○利用促進事業 ○広報戦略の実施	① NPO市民フェスティバル (参加団体66) ○実行委員会を開催(全9回) ○参加団体説明会を開催 (9/30 参加団体27) ○直前説明会を開催 (1/13 参加団体32) ○NPO交流会 (1/27 参加団体22) ② 機関紙「ゆめこらぼ通信」の発行 ○機関紙の発行(4・6・8・10・12・2月号、各号1000部) ○メディアとの意見交換(8/8) ③ 利用促進事業 ○各種イベントで利用促進活動 ○SNSで友達を増やしネットワークを拡大 ④ 広報戦略の実施 ○駅前フェスタ2017で展示(9/16) (主催・場所：保谷駅前公民館)	① NPO市民フェスティバル 9回の実行委員会を開催し企画を検討、参加団体説明会、直前説明会を経て1月20日、21日に「第9回NPO市民フェスティバル～始めよう 市民活動。広げよう 交流の輪。～を開催した。両日の来場者数は1,025名あり、展示、ステージパフォーマンス、プレゼンテーション等を行った。今後も一般市民へのアピールを継続し市民活動への理解や参加を提起し、市民活動への理解を進める必要がある。 同時開催の「地域活動・スタート説明会」は13名の参加があり今後の活動へ繋げていく。 ② 機関紙「ゆめこらぼ通信」の発行 6月号から全面カラー印刷に変更、カラー化を活かして団体のホームページ紹介欄を設け、広報・PRが課題の団体の参考となるよう図った。 より読者の視線を意識した記事にするため、メディアとの意見交換でのアドバイスを活かす必要がある。 初めての試みとして、第53号は第9回NPO市民フェスティバル特集号を発行した。 ③ 利用促進事業 Facebookで友達を増やしたことにより、一層の情報発信の場が広がった。 ゆめこらぼへの登録のメリットなどを分かり易く説明・周知する方法等について検討する必要がある。 ④ 広報戦略の実施 駅前フェスタ2017に参加し、出前相談と展示によるゆめこらぼの紹介を行い、北部地区での市民活動団体、市民の認知度の向上を図った。 自前だけの広報には限界があるため、ゆめこらぼの広報・PRに協力してくれる団体やチラシの配架場所の増加が課題。

事業	当初計画(年間)	実施内容・実施日(参加者数等)	成果と課題
<p>情報収集・提供事業</p>	<p>現在活動している市民活動団体の情報及び市民活動に関連する情報を集約・発信して、市民活動に関する市民の理解や認知度の向上、市民参加の促進を図る。</p> <p><下半期> ○団体紹介冊子の発行 <通年> ○市民活動団体の情報収集・提供 ○市民活動に関する情報収集・提供</p>	<p>① 市民活動団体の情報収集・提供 ○団体の取材・活動紹介・ホームページ紹介(今期13団体、通算103団体) ○ホームページで団体のイベント情報を発信(834件。ほぼ毎日発信) ○チラシ「イベント情報」の毎月発行(約1000部配布) ○団体のパンフレット、機関紙をホームページで紹介 ○団体紹介冊子の増刷(500部) ○NPO市民フェスティバルに合わせて団体紹介冊子を1000部発行</p> <p>② 市民活動に関する情報収集・提供 ○助成金情報等をホームページに掲載(随時) ○近隣7市情報連絡会参加(7/28、1/19) ○日本NPOセンター主催のCEO会議に参加(4/7・8、9/27・28、1/25・26) ○東京ボランティア・市民活動センターの研修会へゲスト参加(5/31、7/14)</p>	<p>① 市民活動団体の情報収集・提供 ホームページのアクセス数は49,102件、昨年の約165%増となり、市民活動に対する認知度の向上に寄与することができた。 団体のパンフレット、機関紙をホームページで紹介することで、団体が積極的に持ち込むことが多くなった。 団体紹介冊子においては例年以上に市民からのニーズが高く増刷した。</p> <p>② 市民活動に関する情報収集・提供 近隣7市情報連絡会※で「まちづくり活動における市民の役割・行政の役割」をテーマに情報交換、CEO会議等で個人情報保護法改正、休眠預金活用法検討状況等の情報を収集、東京ボランティア・市民活動センターの研修会で西東京市のまちづくり円卓会議について情報提供した。 ※ 小平市、八王子市、日野市、府中市、三鷹市、調布市と西東京市の7市の中間支援組織が自発的に集まって情報交換、意見交換を行っている。</p>
<p>相談事業</p>	<p>市民活動に関する一般的な相談、団体の設立や運営等の専門的な相談を基本的な事業として行い、市民活動を支えるセンターとしての役割を担う。</p> <p><通年> ○通常相談業務 ○出前相談業務</p>	<p>① 通常相談業務 センター登録団体数173団体、メールボックス利用88団体、来訪団体数は1,472団体で2,157名、来訪個人2,408名、相談件数70件</p> <p>② 出前相談業務 柳沢マーケット(4/16(1件)) 保谷駅前フェスタ(9/16(2件)) NPO市民フェスティバル(1/20、21(14件)) 合計相談件数17件</p>	<p>① 通常相談業務 相談件数は例年並みで月平均7~8件である。ゆめこらぼが相談を受け付けている事を広報をする必要がある。 FAQを活用することにより、相談がスムーズになった。</p> <p>② 出前相談業務 知名度がないため、出前相談での相談件数は少ないが、今後も市民が多く集まる場所への出店を続けていく。 団体設立に関する相談があり、後日団体を立ち上げるなど活動の一助となった。</p>

事業	当初計画(年間)	実施内容・実施日(参加者数等)	成果と課題
<p>人材、 【団体育成・研究事業】</p>	<p>市民参加を促す意識啓発、市民活動に必要な知識の習得、市民活動団体等の立ち上げに向けた支援・育成、協働を推進するための意識啓発を行い、市民活動の人材、団体の育成を図る。 ＜下半期＞ ○地域活動・スタート交流会 ＜通年＞ ○地域活動紹介ゆめサロンの開催(年2回) ○講座セミナーの開催(年2～3回) ○おとばミディサロンの開催(年に約10回) ○ITコラボ勉強会(年に約10回)</p>	<p>① 地域活動紹介ゆめサロンの開催 ○第1回「まちめぐり～西武柳沢、東伏見駅周辺～」を開催(5/27(23名)) ○第2回「まちめぐり～向台町・新町周辺～」を開催(10/21(11名)) ○地域活動・スタート交流会を開催(3/18(20名))</p> <p>② 講座・セミナー ○NPOパワーアップ講座「学ぼう！活動・運営資金づくり」を開催(9/23(30団体、41名)) ○NPO基礎講座「人が集まる！チラシの作り方」を開催(2/10(25団体、33名))</p> <p>③ おとばミディサロンの開催 ○おとば&ミディサロンを開催(4/20(10名)、5/18(10名)、6/15(9名)、7/20(11名)、8/17(10名)、9/21(7名)、10/19(8名)、11/16(6名)、12/21(9名)、2/15(7名)、3/15(9名))。</p> <p>④ ITコラボ勉強会 ○ITコラボ勉強会を開催(4/22(8名)、5/20(4名)、6/24(6名)、7/22(3名)、9/16(5名)、10/28(4名)、11/25(4名)、12/2(3名)、2/24(3名)、3/24(3名))</p>	<p>① 地域活動紹介ゆめサロンの開催 第1回では市民活動団体の拠点3箇所を訪問、6団体、第2回では拠点2カ所と3団体の活動紹介を行い市民活動の実態を学んだ。第2回目は台風となったため参加人数が半減した。 アンケートを回収した全員が楽しく満足の行くものであったとの回答を得ることができ、個人で知ることが出来ない活動を見聞できたことは有意義であったとの感想があり、企画として好評を得ている。 まちめぐりへの参加がきっかけで地域デビューに繋がった市民もいる。</p> <p>② 講座・セミナー 団体が興味のある講座やセミナーを企画し、運営資金や情報発信力の強化を考え2回の講座を開催し好評を得た。</p> <p>③ おとばミディサロンの開催 仲間づくりや市民活動に関する理解と関心を深めている。また、まちぐりの参加者、ホームページを見ての参加者があり、地域デビューへのアドバイス等を行うことが出来た。 NPO市民フェスティバルの実行委員にもおとば&ミディサロンのメンバーが参加し積極的に運営に携わっている。</p> <p>④ ITコラボ勉強会 Facebookを利用し団体のホームページを作成し、情報発信の更新などを教材に勉強を進め、3団体の情報発信を支援した。最近のIT情報としてコラージュや簡易アニメーションの作成方法なども参加者のニーズに合わせて対応した。また、勉強会の時間外もIT関係の相談を受付情報提供した。</p>

事業	当初計画(年間)	実施内容・実施日(参加者数等)	成果と課題
<p style="text-align: center;">【重点事業】</p> <p style="text-align: center;">地域連携促進事業</p>	<p>地域課題を解消するために市民活動団体、地縁団体、企業、大学等の学校、市等の公共機関が相互に交流、連携、協働するためのコーディネートを行い、様々な関係者の「つながり」による地域連携の促進を図る。</p> <p><上半期></p> <p>○協働のまちづくりワークショップ</p> <p><通年></p> <p>○まちづくり円卓会議(年3回)</p> <p>○地域コミュニティ施策への協力</p>	<p>① まちづくり円卓会議 ○まちづくり円卓会議開催(6/10、7/1、7/15) (まちづくり円卓会議メンバー：6名、ファシリテーター：1名、板書者：2名、カメラボランティア：1名、参観者：22名(6/10)、22名(7/1)、18名(7/15)) ○事前準備会開催(4/28、6/23、7/12)</p> <p>② 協働のまちづくりワークショップ ○協働のまちづくりワークショップを開催(7/25(市民・団体:30名、行政職員28名、見学者3名))</p> <p>③ 地域コミュニティ支援施策への協力事業 ○南部地域協力ネットワークの総会、定例会に参加(5/17、7/19、9/20、11/15、1/17、3/14) ○南部地域協力ネットワークの役員会に参加(4/19、5/17、6/21、9/6、11/1、1/10、3/9) ○南部地域協力ネットワークの講演会(2/24)</p> <p>④ 市民・地縁組織との交流事業 避難所運営協議会等の依頼に応じて避難所運営ゲームを10回実施した。(6/10(38名)、7/11(24名)、7/19(11名)、9/1(30名)、9/9(21名)、10/14(104名)、12/15(約100名)、1/11(15名)、2/5(75名)、2/23(13名))</p>	<p>① まちづくり円卓会議 柳沢公民館と共催で昨年から継続してまちづくり円卓会議「70歳代からの地域デビューを考える」を3回開催。また、その間で会議メンバーによる事前会議を行い、方向性のすり合わせを行った。 地域デビューの目的やハードルの低さや情報提供について参観者とともに意見交換を行い、それらを具体的なアクションとして公民館講座に活かしていくこととなった。</p> <p>② 協働のまちづくりワークショップ 講演とワークショップの2部構成で「協働のきほんのき！を学ぶ」と題して、1部では西東京市における協働の定義、協働の3つのポイント、行政と市民活動団体などの違いなどについて学び、2部では、12グループごとに3つの問いについて話し合い、全グループが報告し共有した。最後に講師から、地域課題と双方の課題についてわかりやすく説明された。 西東京市における協働の定義を市民と職員が共に学ぶ場となった。顔と顔をつなぐことも協働の一步となること等、協働についてのあいまいなイメージがはっきりしたとの意見が多数あった。</p> <p>③ 地域コミュニティ支援施策への協力事業 南部地域協力ネットワークの総会、定例会に参加し情報提供するとともに役員を務めた。</p> <p>④ 市民・地縁組織との交流事業 実際の図面やマニュアルを用い、避難所となる体育館で実施するなど実践的なゲームを行うなど防災に対する意識向上を図る一助となった。今後は依頼があれば西東京レスキューバードや田無スマイル大学につないでいく。</p>

事業	当初計画(年間)	実施内容・実施日(参加者数等)	成果と課題
施設 の 提供 及び その 他 事業	施設や機材の提供を行い、市民活動を支えることでセンターの利用者の増加を図る。 <通年> ○サロンスペースの提供 ○機材の提供 ○登録団体に対し、メールボックス(私書箱)の提供	○サロンスペースの提供 (来訪団体数：1,472団体、来訪者数：2,408名、サロンスペース：985名) ○機材の提供 (コピー機：60件、印刷機：248件、紙折り機・裁断機：56件、ラミネーター：53件、AV機材：64件) ○登録団体に対し、メールボックス(私書箱)の提供(88函、197件)	小型のプロジェクターを1台購入・貸出開始。 プロジェクター等機材及びラミネーターの利用者が増加した。 サロンスペース等の利用者数は月により増減がある。 施設の提供も含め、機材やメールボックスの提供があることの周知を継続していく。
運営 及び 維持 管理	市民の声を反映するため運営委員会を設置する。 事業充実にむけ、研修によるスタッフの資質向上を図る。 運営における維持管理を行う。 <通年> ○運営委員会の開催 ○研修会への参加 ○事業実施に向けたセンター運営及び維持管理	○運営委員会の開催(4/18(11名)、5/16(9名)、6/20(8名)、7/18(11名)、9/19(7名)、10/17(11名)、11/21(9名)、12/19(9名)、1/16(7名)、2/20(7名)、3/20(9名)) ○研修会への参加(4/19、5/11、5/30、7/6、7/14、7/20、7/29、9/16、9/30、10/12、12/2、2/20、3/19、3/20(各1名)) ○事業実施に向けたセンター運営及び維持管理(常時)	運営委員からの次年度に対する提案や意見を聞くことが出来たので、取り入れられるものは反映させていく。 他市の市民協働推進センターの講座に参加し、当センター事業の企画に活かすことができた。今後も団体の支援や当センター事業の企画に活かすための情報を得るために他市の講座や勉強会に参加していく。 ○事業実施に向けたセンター運営及び維持管理(常時)